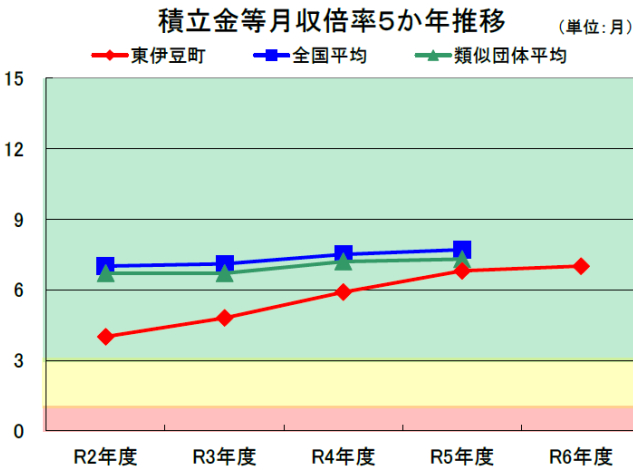
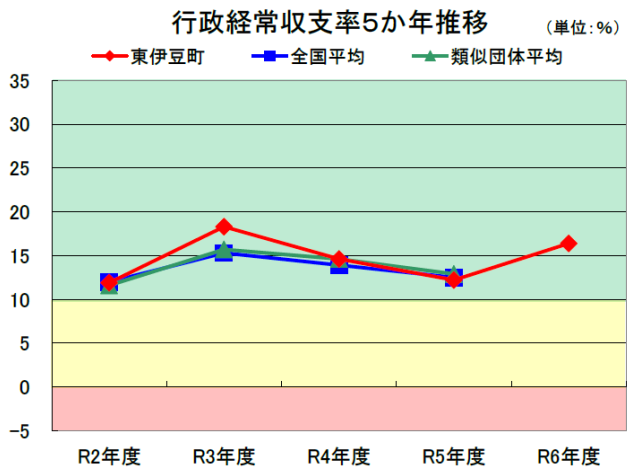
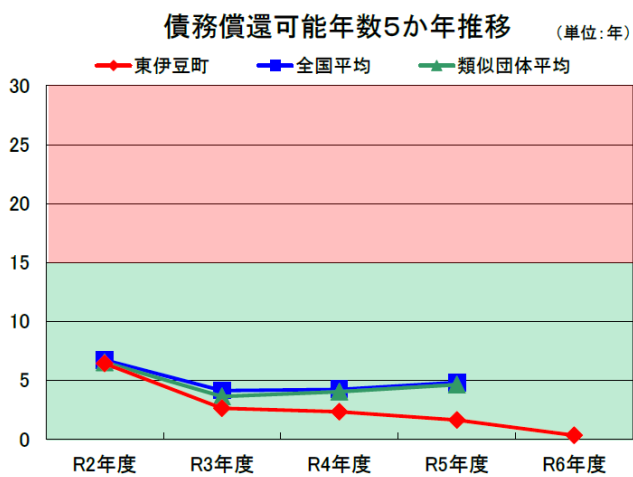
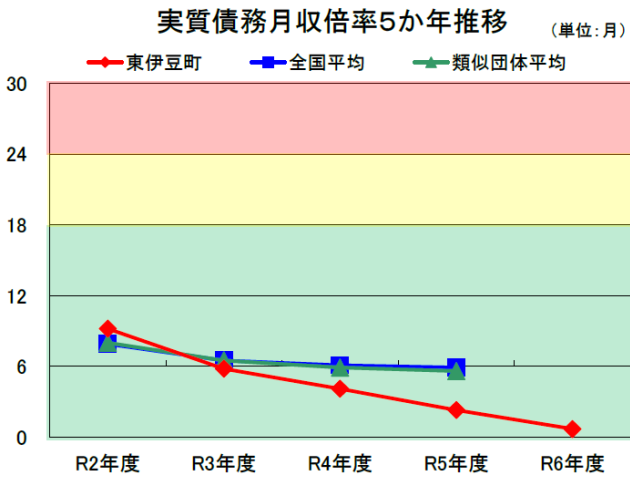


東伊豆町の財務状況把握結果(要旨)

(R8. 1. 28 財務省 東海財務局 静岡財務事務所)

財務指標の経年推移

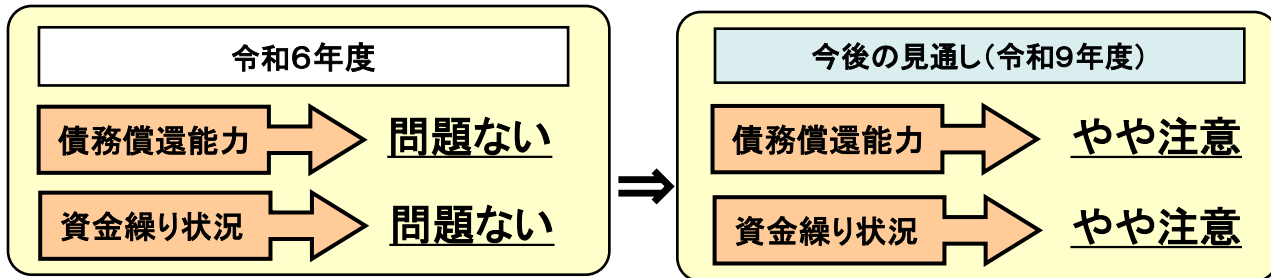


	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①実質債務月収倍率	9.2月	5.8月	4.1月	2.3月	0.7月
②債務償還可能年数	6.4年	2.6年	2.3年	1.6年	0.3年
③行政経常収支率	11.9%	18.3%	14.6%	12.2%	16.4%
④積立金等月収倍率	4.0月	4.8月	5.9月	6.8月	7.0月

	類似団体平均	全国平均	静岡県平均
①実質債務月収倍率	5.6月	5.9月	6.0月
②債務償還可能年数	4.6年	4.8年	5.1年
③行政経常収支率	12.9%	12.5%	10.3%
④積立金等月収倍率	7.3月	7.7月	5.4月

※ 平均値はいずれもR5年度

総合評価



財務指標

矢印の方向が今後の見通しの方向性を表しています

指標	① 実質債務月収倍率 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕	② 債務償還可能年数 〔 $\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$ 〕	③ 行政経常収支率 〔 $\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$ 〕	④ 積立金等月収倍率 〔 $\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$ 〕
問題なし	<div> <div>良化</div> <div>↑</div> <div>0.7月</div> </div>	<div> <div>良化</div> <div>↑</div> <div>0.3年</div> </div>	<div> <div>16.4%</div> <div>↓</div> <div>悪化</div> </div>	<div> <div>良化</div> <div>↑</div> <div>7.0月</div> </div>
やや注意	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力(①、②、③)

資金繰り状況(②、③、④)

留意点

貴町は、豊かな自然環境や温泉資源を背景とした観光産業が基幹産業であり、インバウンド誘客に向けた町長のトップセールスや熱川台湾提灯プロジェクト「熱川に九フンが灯る」の振興施策の実施により、観光交流客数はインバウンドを中心に回復傾向となっている。また、ふるさと納税の推進を通じた特産品の開発や産業の振興、関係人口の増加に取り組んでおり、寄附金収入についても増加傾向で推移しているほか、同寄附金を公共交通サービス「ノッカルひがしいず」等、地域課題の解決等に向けた施策の財源として活用している。一方、財政運営においては、今後も引き続き、ふるさと納税の推進や地方税の収入率向上に取り組むほか、観光振興等の取組み推進に向けた入湯税の引上げにより、地方税や寄附金収入が増加する見込みであるものの、物価高騰の影響等による物件費の増加や人件費の増加等により、経常的な収支は悪化する見通しである。

また、今後、学校教育環境の整備等の大規模事業についても検討を進めていることから、その財源の確保に十分留意する必要がある。

こうした中、貴町では、直面する課題に対応するため、町民に分かりやすく、職員が活用するための新たな「まちづくり総合指針」を策定している。引き続き、同指針に基づき、機動性と柔軟性を備えた総合的な取組みを推進していくことで効率的な行政運営と健全な財政運営の実現に努められたい。